

独立意識との関係-. 1995, 12, 大宮.

- 21) 塚原節子, 高間静子: 看護婦の専門的自律度と個人の特性との関係Ⅱ-自己実現, 達成動機, 独自性欲求との関係-. 1995, 12, 大宮.

◆ 総 説

- 1) 福村幸代: 看護婦の専門的態度と看護観—測定スケールに基づく評価の活用—, 日総研出版 (看護部門) 18(6): 14-18, 1995.

臨 床 看 護 学

教 授 (精神看護学)	神 郡 博
教 授 (成人看護学)	澤 田 愛 子
教 授 (成人看護学)	田 澤 賢 次
教 授 (小児看護学)	湯 川 倫 代
教 授 (母性看護学)	塚 田 トキエ
助教授 (母性看護学)	堀 井 満 恵
講 師 (成人看護学)	川 西 千恵美
助 手 (母性看護学)	長谷川 ともみ
助 手 (精神看護学)	堀 内 園 子
助 手 (母性看護学)	木 谷 尚 美

◆ 著 書

- 1) 神郡博: 看護のための精神保健. 看護の科学社, 東京, 1995.
- 2) 神郡博: ケアリングの理論と実際. 「ケアリングの理論と実際」C.L.モンゴメリー著, 神郡博, 濱畑章子訳, 1-42, 115-166.医学書院, 東京, 1995.
- 3) 澤田愛子: エイズ. 「バイオエシックス入門」(第2版), 今井道夫, 香川知晶編, 138-155, 東信堂, 東京, 1995.
- 4) 澤田愛子: 死の看護学序説—死の恐怖を越えるもの—. 「ターミナルケアへの提言—いま, 何が問われているか」, 方波見康雄, 近藤文衛, 形浦昭克編, 84-93, 金原出版, 東京, 1995.
- 5) 田沢賢次: 今なぜ閉塞性 (オクルーシブ) ドレッシングか. 「ドレッシング—新らしい創傷管理—」穴沢貞夫監修, 76-81, へるす出版, 東京, 1995.

◆ 原 著

- 1) 神郡博, 田村文子, 堀内園子: 精神障害患者に見られる思考過程の障害と看護診断適用の妥当性に関する研究. 富山医科薬科大学医学部看護学科紀要 2: 81-87. 1995.
- 2) 澤田愛子: 日本におけるホスピスとそのルーツ. 宗教研究 68(303): 415-417, 1995.
- 3) 澤田愛子: ナーシング・アドボカシーとインフォームド・コンセント. 医学哲学・医学倫理13: 105-114, 1995.
- 4) 澤田愛子: 日本のホスピス—そのルーツと将来の展望. セミナー医療と社会 7: 49-55, 1995.
- 5) Sawada A.: Hospices and there Roots in Japanese Culture. Nursing Bull. of Toyama Medical and Pharmaceutical University 2, 1995.
- 6) 田沢賢次, 竹森 繁, 斎藤智裕, 増子 洋, 清水哲朗, 藤巻雅夫, 長江英夫: Dextran mag-

- netite (DM)粒子を用いる誘導加温法. 日本ハイパーサーミア学会誌 11: 86-92, 1995.
- 7) 田沢賢次, 佐伯俊雄, 竹森 繁, 山本克弥, 霜田光義, 斎藤智裕, 齊藤素子, 野本一博, 新井英樹, 藤巻雅夫, 服部征雄, 難波恒雄: クシャラ・ストラによる痔瘻の手術. 外科 49: 847-856, 1995.
 - 8) Sawataishi M., Karaki Y., Nagata T., Hino K., Ihara Y., Sakamoto T., Tazawa K., and Fujimaki M.: Primary adenoid cystic carcinoma of the esophagus: a light and electron microscopic study. J. Jpn. Bronchoesophagol. Soc., 46: 227-234, 1995.
 - 9) Sawataishi M., Sakamoto T., Karaki Y., Sakai T., Saito T., Saito M., Shimizu T., Tazawa K., and Fujimaki M.: Primary adenoid cystic carcinoma of the esophagus - an immunohistochemical and electron microscopic study. Med. Electron Microsc. 28: 146-155, 1995.
 - 10) Masuko Y., Tazawa K., Takemori S., Shimizu T., Fujimaki M., Nagae H., Viroonchatapan E., Sato H., and Horikoshi I.: Possibility of thermosensitive magnetoliposomes as a new agent for electromagnetic induced hyperthermia. Biol. Pharm. Bull. 18: 1802-1804, 1995.
 - 11) Ohkami H., Tazawa K., Yamashita I., Shimizu T., Murai K., Kobashi K. and Fujimaki M.: Effects of apple pectin on fecal bacterial enzymes in azoxymethane induced rat colon carcinogenesis. Jpn. J. Cancer Res. 86: 523-529, 1995.
 - 12) 大上英夫, 田沢賢次, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Azoxymethane誘発ラット大腸腫瘍に対するアップルペクチンの効果(第3報): 胆汁酸代謝からみた考察. 消化器癌の発生と進展7: 195-198, 1995
 - 13) 斎藤智裕, 横山義信, 齊藤光和, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 手術侵襲が線維芽細胞の増殖に与える影響. Progress in Medicine 15: 283-284, 1995.
 - 14) 斎藤智裕, 横山義信, 柚木 透, 齊藤光和, 唐木芳昭, 田澤賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養細胞における $\Delta 12$ -prostaglandin J2とhyperthermiaの併用効果の検討, 日本消化器外科学会雑誌 28: 749, 1995.
 - 15) 王 龍宝, 齊藤智裕, 柚木 透, 横山義信, 齊藤光和, 田澤賢次, 藤巻雅夫: ノードマウス可移植性ヒト消化器癌に対する“龍起癌宝散”の抗癌作用の検討. 漢方と最新治療 4: 179-182, 1995.
 - 16) 森永秀夫, 田沢賢次, 田合ひろみ, 村口 篤, 藤巻雅夫: In vivoにおけるPSK, LEMの経口投与による肝, 脾臓内IL-1 β mRNAの発現について. BIOTHERAPY 9: 612-614, 1995.
 - 17) 塚田邦夫, 田沢賢次, 新井英樹, 勝山新弥, 竹森 繁, 藤巻雅夫: 消化器手術直後の皮下膿瘍切開創に対するアルゴダームの使用経験. 新薬と臨床 44: 629-643, 1995.
 - 18) 塚田邦夫, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 徳永恵子, 岩間毅夫, 三島好雄: 褥創各深達度における湿潤環境と閉鎖性ドレッシング法. Progress in Medicine 15: 1569-1570, 1995.
 - 19) Viroonchatapan E., Ueno M., Sato H., Adachi I., Nagae H., Tazawa K., and Horikoshi I.: Preparation and characterization of Dextran Magnetite-incorporated thermosensitive liposomes: An on-line flow system for quantifying magnetic responsiveness. Pharmaceutical Research, 12: 1176-1183, 1995.
 - 20) 石塚安治, 金本郁男, 堀越 勇, 田沢賢次: 臭化水素酸エプタゾシン坐剤の臨床応用. 日本病院薬学会 21: 352-356, 1995.
 - 21) 西出 薫, 塚田邦夫, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 宮崎晴美, 島野香奈枝, 高島弘子, 太田道子, 山崎直美, 北本静佳: エアーマットの分類および体圧分散効果に関する検討(1) - マットの形状と効果の関連性. 日本ストーマリハビリテーション学会誌 11: 17-24, 1995.
 - 22) 塚田トキエ, 堀井満恵, 木谷尚美: 母性意識と幼少期体験の関連についての研究 - 看護学生と他学学生にみる母性意識 - . 教務と臨床指導者 8(4): 57-66, 1995.
 - 23) 堀井満恵, 塚田トキエ, 木谷尚美, 久湊尚子: 母性看護学における教育方法に関する研究(第一報) - 演習の学習効果について - . 富山医科薬科大学看護学科紀要, No2: 57-67, 1995.
 - 24) 川西千恵美, 高間静子, 岩城直子, 谷優美子, : 看護婦の依存性・開き直り度・自己実現傾向の職務満足度への影響 富山医科薬科大学看護学科紀要 2: 1-6, 1995.
 - 25) 川西千恵美, 船木智子, 宮林千鶴子: 自己受容度と患者満足度との関係 - 手術患者に焦点をあ

- ててー. 富山医科薬科大学看護学科紀要 2 : 69-73, 1995.
- 26) 高間静子, 田中いづみ, 川西千恵美, 上野栄一, 塚原節子: 看護婦の就労姿勢の職務満足度への影響. 富山医科薬科大学看護学科紀要 2 : 7-13, 1995.
- 27) Hasegawa, T., Kurokawa, M., Yukawa, T., Horii, M. and Shiraki, K.: Inhibitory action of acyclovir (ACV) and penciclovir (PCV) on plaque formation and partial cross-resistance of ACV-resistant varicella-zoster virus to PCV. *Antiviral Research*, 27 : 271-279, 1995.
- 28) Yukawa T., Takama S.: A study on troubles among children in growing and developmental stage. *Nursing Bulletin of To-yama Med & Pharm univ* 2 : 47-55, 1995.
- 29) 高間静子, 塚原節子, 福田正治, 湯川倫代: 看護婦の自己実現傾向, 達成動機, 独自性欲求等の職務満足度への影響. 富山医科薬科大学看護学科紀要 2 : 31-38, 1995.

◆ 短 報

- 1) 湯川倫代, 黒川昌彦, 長谷川ともみ, 氷見由紀夫, 難波恒雄, 松井祥子, 今北正美, 穂積豊治, 白木公康: 和漢薬によるCMV感染症に対する予防的治療効果, 和漢医薬学雑誌12(4): 424-425, 1995.

◆ 症例報告

- 1) 齊藤光和, 坂本 隆, 岸本浩史, 笹原孝太郎, 笠木徳三, 新井英樹, 山田 明, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 回腸 inflammatory fibroid polypを併存したRichterヘルニアの1例. 日本臨床外科医学会雑誌 56 : 2736-2739, 1995.
- 2) 島多勝夫, 唐木芳昭, 川西孝和, 日野浩司, 安齊 裕, 斎藤光和, 斎藤智裕, 山下芳朗, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 脊髄小脳変性症の経過中に発見された乳癌の1例. 日本臨床外科医学会雑誌 56 : 49-53, 1995.
- 3) 増子 洋, 山下芳朗, 魚谷英之, 広川慎一郎, 坂本 隆, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 高島秀樹, 酒井正利, 泉 陸一: 鼠径ヘルニア嵌頓で発症した胃奇形腫の1例. 日本小児外科学会雑誌 31 : 237-241, 1995.
- 4) 増子 洋, 山下芳朗, 広川慎一郎, 魚谷英之, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 石澤伸: 空腸脂肪腫により腸重積をきたした1小児例. 小児外科 27 : 461-465, 1995.

- 5) 増子 洋, 山下芳朗, 鈴木修一郎, 安齋 裕, 齊藤素子, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 伊井 祥: 右傍十二指腸ヘルニアを伴った成人腸回転異常症の1例. 外科 57 : 613-616, 1995.
- 6) 増子 洋, 新井英樹, 野本一博, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 右鼠径ヘルニア嚢の病理学的検索にて診断された臍癌腹膜播種再発の1例. 外科 57 : 1744-1747, 1995.
- 7) 魚谷英之, 坂本 隆, 沢田石勝, 東山考一, 黒木嘉人, 増子 洋, 清水哲朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 田中三千雄: 嚢胞形成を来した胃迷入瘻の1例. *Gastroenterol. Endosc.* 37 : 2475-2479, 1995.
- 8) 岸本浩史, 田内克典, 勝山新弥, 新保雅宏, 齊藤文良, 湯口 卓, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 残胃癌術中経過観察し得た大腸嚢胞様気腫の1例. 日本臨床外科医学会雑誌 56 : 2125-2129, 1995.

◆ 総 説

- 1) 神郡博: ともに考える精神保健—家族にみられる精神保健問題—. *精神科看護* 48 : 62-67, 1995.
- 2) 田村文子, 神郡博: ともに考える精神保健—性と精神保健—. *精神科看護* 49 : 76-81, 1995.
- 3) 神郡博: ともに考える精神保健—看護とストレス—. *精神科看護* 53 : 70-74, 1995.
- 4) 神郡博: 精神科チーム医療と看護の役割. *日本精神病院協会雑誌* 14(5) : 22-25, 1995.
- 5) 澤田愛子: 医療における看護婦の倫理的・社会的責任—(4)倫理的ジレンマに陥った時看護婦はどうすればよいのか. *ヘッド・ナース* 9(4) : 107-112, 1995.
- 6) 田沢賢次, 新井英樹, 竹森 繁, 勝山新弥, 山本克弥, 増山喜一, 山下 巖, 南村哲司, 岡本政広, 大上英夫, 藤巻雅夫: 骨盤内蔵全摘術. *外科診療* 37 : 81-87, 1995.
- 7) 田沢賢次, 大上英夫, 大西康晴, 山本克弥, 勝山新弥, 山下 巖, 岡本政広, 南村哲司, 増山喜一, 竹森 繁, 新井英樹, 藤巻雅夫: 消化器癌術後の肝転移再発防止に対するBRMの応用—特に経口投与方法による肝転移制御は可能か—. *消化器癌の発生と進展* 7 : 45-48, 1995.

◆ 学会報告

- 1) 神郡博, 田村文子, 堀内園子: 精神障害患者の看護問題に対する看護診断適用と診断指標に関する研究: 第15回日本看護科学学会, 1995, 12, 大宮.

- 2) 澤田愛子：救命ボートがやって来た時—極限状態における生命観。第7回日本死の臨床研究会北海道支部講演会，1995，4，札幌。
- 3) 澤田愛子：生殖技術と倫理—生命倫理の立場から。第8回実地医家と助産婦の為の周産期セミナー，1995，7，札幌。
- 4) 澤田愛子：看護ケアにおけるジレンマと倫理的意思決定のプロセス。第21回日本看護研究学会学術集会，1995，7，札幌。
- 5) 澤田愛子：不安神経症の青年との2年半—その心理的葛藤をみつめて。第14回日本心理臨床学会，1995，10，福岡。
- 6) 澤田愛子：エイズの倫理的問題—社会防衛の諸手段は倫理的にどこまで許容され得るのか。第7回日本生命倫理学会大会，1995，10，東京。
- 7) 澤田愛子：高齢者の考える死。第19回日本死の臨床研究会大会，1995，11，京都。
- 8) 澤田愛子：ナーシング・アドボカシー，その理論と実践に関して。千葉看護学会第1回学術集会，1995，11，千葉。
- 9) Tazawa K., Okami H., Yamashita I., Honda T., Kobashi K., and Fujimaki M.: Effect of apple pectin on azoxymethane-induced colon carcinogenesis-Fecal enzyme activities and prostaglandin E2 levels in colonic mucosa. 3rd Joint Conference of the American Association for Cancer Research and the Japanese, Cancer Association, 1995, 2, Maui.
- 10) Tazawa K., Saeki T., Minamimura T., Takemori S., Arai H., and Fujimaki M.: Treatment of anal fistula associated with Crohn's disease. 5th Congress of Asian Federation of Coloproctology, 1995, 5, Seoul.
- 11) Tazawa K.: Bases fisiologicas do cuidado da pele periestoma. 44th Congresso Brasileiro de Coloproctologia, 1995, 7, Sao Paulo.
- 12) Tazawa K., Okami H., Yamashita I., Ohnishi Y., Kobashi K., and Fujimaki M.: Effect of apple pectin on azoxymethane-induced colon carcinogenesis-Fecal enzyme activities and prostaglandin E2 levels. International Conference on Food Factors: Chemistry and Cancer Prevention, 1995, 12, Hamamatu.
- 13) Tazawa K.: Intestinal flora and cancer control, International Conference on Food Factors: Chemistry and Cancer Prevention, 1995, 12, Hamamatu.
- 14) 田沢賢次：有茎腸管平滑筋移植による機能付与ストーマ造設法。第20回日本外科系連合学会学術集会，1995，6，東京。
- 15) 田沢賢次，Goes RN, Pereia DS, 南村哲司，大上英夫，塚田邦夫，山本克弥，勝山新弥，竹森繁，坂本 隆，山下芳朗，新井英樹，藤巻雅夫：Two chamber ileal pelvic reservoir. 第46回日本消化器外科学会，1995，7，福井。
- 16) Fujimaki M., Sakamoto T., Shimizu T, Saito M., Karaki Y., and Tazawa K.: A clinicopathological evaluation of surgical treatment for gastric carcinoma. The IIIrd. Symposium JAPAN-POLAND SOCIETY FOR EXCHANGE IN SURGERY, 1995, 9, Warsaw.
- 17) Sakamoto T., Fujimaki M., Shimizu T., Kuroki Y., Nomura N., Ihara Y., Higashiyama K., Saito M., Sawataishi M., Karaki Y., Tazawa K.: Palliative operation for advanced esophageal cancer. Societe Internationale de Chirurgie, 1995, 8, Lisbon.
- 18) 坂本 隆，清水哲朗，沢田石勝，東山考一，黒木嘉人，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：胃切除後逆流性食道炎の手術適応と術式。第45回日本消化器外科学会総会，1995，2，横浜。
- 19) 坂本 隆，清水哲朗，斎藤光和，野村直樹，山下 巖，斎藤文良，沢田石勝，黒木嘉人，山下芳朗，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：術前A3と診断した胸部食道癌の治療成績。第46回日本消化器外科学会総会，1995，7，福井。
- 20) 山下芳朗，魚谷英之，増子 洋，広川慎一郎，霜田光義，新井英樹，坂本 隆，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：小児肝癌の治療—術前動注療法により切除可能になった症例を中心に。第7回日中消化器外科学術交流会議，1995，9，桂林（中国）。
- 21) 新井英樹，横山義信，大上英夫，岡本政広，南村哲司，増山喜一，山本克弥，勝山新弥，竹森繁，坂本 隆，田沢賢次，藤巻雅夫：S字状結腸・直腸癌手術症例における器械吻合の合併症。第46回日本消化器外科学会総会，1995，7，福井。
- 22) 新井英樹，岡本政広，南村哲司，増山喜一，山本克弥，勝山新弥，竹森 繁，坂本 隆，田沢賢次，藤巻雅夫：下部消化管手術における器械吻合の合併症。第7回日中消化器外科学術交流会議，

- 1995, 9, 桂林 (中国).
- 23) 西村律子, 菊川 香, 石川尚美, 安田智美, 濱野保子, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 塚田邦夫, 田澤賢次, 藤巻雅夫, 西出 薫: パウチドレナージとガーゼ処置におけるコストの検討. 第12回日本ストーマリハビリテーション学会総会, 1995, 2, 京都.
- 24) 霜田光義, 沢田石勝, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 肝予備能, 肝細胞viabilityからみた70%肝葉に対する血流緩徐遮断の意義. 第95回日本外科学会総会, 1995, 4, 名古屋.
- 25) 霜田光義, 長田拓哉, 坂東 正, 山岸文範, 白崎 功, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道胃静脈症例におけるRI経脾門脈造影法の検討. 日本消化器内視鏡学会第65回北陸地方会, 1995, 6, 富山.
- 26) 霜田光義, 長田拓哉, 坂東 正, 山岸文範, 白崎 功, 田沢賢次, 藤巻雅夫: RI経脾門脈造影法による血行動態からみた食道胃静脈瘤症例の検討. 第2回日本門脈圧亢進症食道静脈瘤学会総会, 1995, 9, 横浜.
- 27) 沢田石勝, 坂本 隆, 井原祐治, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 斎藤光和, 清水哲朗, 山下芳朗, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道腺様嚢胞癌の免疫組織学および超微形態学的検討. 第46回日本消化器外科学会総会, 1995, 7, 福井.
- 28) Shimizu T., Sakamoto T., Tauchi K., Ihara Y., Nomura N., Higashiyama K., Kuroki Y., Saito M., Sawataishi M., Karaki Y., Tazawa K., Fujimaki M.: A clinicopathological study of sm gastric cancer. The 1st International gastric cancer congress, 1995, 3, Kyoto.
- 29) Shimizu T., Fujimaki M., Sakamoto T., Saito M., Tauchi K., Yamashita I., Karaki Y., Tazawa K.: Surgical treatment for esophageal carcinoma in Japan with a special reference to superficial type. The 4th Bolivian-Japanese Symposium of Gastroenterology, 1995, 11, Lapaz.
- 30) Shimizu T., Sakamoto T., Saito M., Tauchi K., Yamashita I., Karaki Y., Tazawa K., Fujimaki M.: A clinicopathological evaluation of surgery for early gastric carcinoma. Scientific Committee of the College of Physicians and Surgeons of Costa Rica, 1995, 11, San Jose.
- 31) 清水哲朗, 坂本 隆, 井原祐治, 東山考一, 黒木嘉人, 沢田石勝, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胸部食道癌に対する3領域郭清の検討. 第45回日本消化器外科学会総会, 1995, 2, 横浜.
- 32) 清水哲朗, 坂本 隆, 津沢豊一, 野村直樹, 山下 巖, 斎藤光和, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: Stage IV胸部食道癌に対する非開胸食道抜去術の意義. 第38回日本胸部外科学会関西地方会, 1995, 6, 尼崎.
- 33) 清水哲朗, 坂本 隆, 井原祐治, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 斎藤光和, 沢田石勝, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胸部食道癌姑息切除例の検討. 第46回日本消化器外科学会総会, 1995, 7, 福井.
- 34) Tauchi K., Sakamoto T., Shimizu T., Kuroki Y., Ihara Y., Higashiyama K., Sawataishi M., Karaki Y., Tazawa K., Fujimaki M.: Clinicopathological studies of mucosal gastric carcinomas. First International Gastric Cancer Congress, 1995, 3, Kyoto.
- 35) 山本克弥, 横山義信, 山崎一磨, 大上英夫, 岡本政広, 南村哲司, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 下部直腸癌 (Rb, Ra) における側方リンパ節転移症例の検討. 第46回日本消化器外科学会総会, 1995, 7, 福井.
- 36) 増山喜一, 田澤賢次, 岡本政広, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 藤巻雅夫: 非治癒切除後, 頻回の手術および免疫化学療法により長期生存している大腸癌の1例. 第8回日本BRM学会総会, 1995, 11, 岐阜.
- 37) 増子 洋, 竹森 繁, 田沢賢次, 清水哲朗, 藤巻雅夫, E. Viroonchatapan, 佐藤 均, 堀越 勇, 長江英夫: Thermosensitive Magnetoliposomesを用いた皮下腫瘍に対する新しい選択的誘導加温法. 日本ハイパーサーミア学会第12回大会, 1995, 9, 東京.
- 38) 増子 洋, 竹森 繁, 田沢賢次, 清水哲朗, 藤巻雅夫, 長江英夫, E. Viroonchatapan, 佐藤 均, 足立伊佐雄, 堀越 勇: 皮下腫瘍に対する Thermosensitive Magnetoliposomes を用いる誘導加温法の実験的研究. 第54回日本癌学会総会, 1995, 10, 京都.
- 39) 増子 洋, 山下芳朗, 魚谷英之, 広川慎一郎, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 陰嚢水腫として経過観察された乳児精巣卵黄嚢腫瘍の1例. 第11回日本小児がん学会, 1995, 12, 新潟.

- 40) Kuroki Y., Yamada A., Sakakibara T., Sakamoto T., Ihara Y., Nomura N., Higashiyama K., Shimizu T., Tauchi K., Saito M., Sawataishi M., Karaki Y., Tazawa K., Fujimaki M.: Diagnosis of early gastric cancer by endoscopic ultrasonography (EUS) with an original alternative balloon method. First International Gastric Cancer Congress, 1995, 3, Kyoto.
- 41) 野村直樹, 坂本 隆, 吉野友康, 長田拓哉, 大上英夫, 野本一博, 井原祐治, 黒木嘉人, 東山考一, 清水哲朗, 斎藤光和, 沢田石勝, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 放射線療法, 化学療法が奏功した胃扁平上皮癌の1例(内視鏡像を中心に). 第65回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1995, 6, 富山.
- 42) Minamimura T., Katsuyama S., Ookami H., Yamamoto K., Arai H, Sakamoto T., Yamashita Y, Tazawa K, Fujimaki M.: Effects of Quartz porphyry on azoxymethane-induced colon tumors in rat. 5TH CONGRESS OF THE ASIAN FEDERATION OF COLOPROCTOLOGY, 1995, 6, Seoul.
- 43) 津澤豊一, 坂本 隆, 島多勝夫, 斎藤文良, 野村直樹, 山下 巖, 清水哲朗, 斎藤光和, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 0-IIc+IIbの所見を呈した高度進行胃癌の1例. 第66回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1995, 11, 金沢.
- 44) 井原祐治, 坂本 隆, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 斎藤光和, 清水哲朗, 沢田石勝, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井一裕: 当科で経験したいわゆる'胃小細胞癌' 6例の検討. 1995, 7, 福井.
- 45) 山田 明, 阿部要一, 柚木 透, 森永秀夫, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道壁内偽憩室症を伴った胃全摘後Barret食道の1症例. 第57回日本臨床外科学会, 1995, 11, 福島.
- 46) 大上英夫, 田沢賢次, 山下 巖, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 村井健二, 小橋恭一, 藤巻雅夫: Azoxymethane誘発大腸腫瘍に対するアップルペクチンの抑制効果(第2報) - 糞便中短鎖脂肪酸および腸内細菌叢からみた考察 -. 第45回日本消化器外科学会総会, 1995, 2, 横浜.
- 47) 大上英夫, 坂本 隆, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 大腸穿孔症例の臨床的検討. 第24回日本腹部救急医学会総会, 1995, 3, 前橋.
- 48) 大上英夫, 田沢賢次, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 村井健二, 小橋恭一, 藤巻雅夫: Azoxymethane誘発ラット大腸腫瘍に対するアップルペクチンの効果; 便中酵素活性への影響. 第50回日本大腸肛門病学会総会, 1995, 10, 東京.
- 49) 魚谷英之, 山下芳朗, 増子 洋, 広川慎一郎, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 手術既往のない小児に発症した, 索状物によるイレウス症例の検討. 第25回日本腹部救急医学会総会, 1995, 9, 東京.
- 50) 魚谷英之, 山下芳朗, 増子 洋, 霜田光義, 広川慎一郎, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 村上 新, 上勢敬一郎, 窪田博道: 動注化学療法後, 下大静脈-右心耳バイパス下右3区域切除できた肝芽腫例. 第32回日本小児外科学会総会, 1995, 6, 横浜.
- 51) 斎藤文良, 坂本 隆, 津沢豊一, 山下 巖, 野村直樹, 清水哲朗, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胸部食道癌に対する3領域郭清の検討. 第231回北陸外科学会, 1995, 5, 富山.
- 52) 横山義信, 斎藤智裕, 田沢賢次, 斎藤光和, 大上英夫, 南村哲司, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森繁, 新井英樹, 塚田邦夫, 藤巻雅夫: 手術侵襲が線維芽細胞の増殖に与える影響. 第12回日本ストーマリハビリテーション学会総会, 1995, 2, 京都.
- 53) 横山義信, 坂本 隆, 斎藤光和, 斎藤智裕, 柚木 透, 野村直樹, 清水哲朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養細胞における $\Delta 12$ -prostaglandin J2($\Delta 12$ -PGJ2)と温熱療法の併用効果の検討. 第13回日本ヒト細胞学会大会, 1995, 9, 富山.
- 54) 横山義信, 斎藤智裕, 柚木 透, 斎藤光和, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養細胞における $\Delta 12$ -prostaglandin J2と温熱療法の併用効果の検討-特にアポトーシスとの関連について-. 第46回日本消化器外科学会総会, 1995, 7, 福井.
- 55) 横山義信, 坂本 隆, 斎藤光和, 斎藤智裕, 柚木 透, 野村直樹, 東山考一, 清水哲朗, 沢田石勝, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ヒト食道癌培養細胞における $\Delta 12$ -prostaglandin J2 ($\Delta 12$ -PGJ2)と温熱療法の併用効果の検討. 第54回日本癌学会総会, 1995, 10, 京都.
- 56) Tsukada K., Tokunaga K, Iwama T, Tazawa K., VanNiel J., Church J., Fazio V.: How quickly a stoma shrink to its

- permanent size. 5th Congress of the Asian Federation of Coloproctology. 1995, 6, Seoul.
- 57) 塚田邦夫, 杉山和子, 西森 弘, 横田 力, 島多勝夫, 安斎 裕, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 血液透析患者の残胃進行癌に対する胃亜全摘再建術. 第31回中部外科学会総会, 95, 9, 富山.
- 58) 塚田邦夫, 東山考一, 田内克典, 新井英樹, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 前方切除術 (Baker法) における器械吻合. 第45回日本消化器外科学会総会, 1995, 2, 東京.
- 59) 塚田邦夫, 徳永恵子, 岩間毅夫, 三島好雄, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ストーマ周囲皮膚障害の肉眼分類. 第12回ストーマリハビリテーション学会総会, 1995, 2, 京都.
- 60) 長田拓哉, 霜田光義, 吉野友康, 大上英夫, 清水哲朗, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 先天的左胃静脈-左腎静脈シャントによりPorto-systemic encephalopathyをきたした1例, 第232回北陸外科学会, 1995, 9, 金沢.
- 61) Ohnishi, Y., Tazawa, K., Saeki, T., Minamimura, T., Takemori, S., Arai, H., Fujimaki, M.: Treatment of anal fistula associated with Crohn's disease by Ksharasutra. 5th Congress of The Asian Federation of Coloproctology, 1995, 2, Seoul.
- 62) 大西康晴, 大上英夫, 田沢賢次, 藤巻雅夫: ラット肝転移モデルに対するアップルペクチン (水溶性食物繊維) の抑制効果-プロスタグランジンE₂との関連-, 第54回日本癌学会総会, 1995, 10, 京都.
- 63) 吉田 徹, 魚谷英之, 山本克弥, 濱名俊泰, 野村直樹, 黒木嘉人, 斎藤光和, 清水哲朗, 沢田石勝, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道lymphoepithelioma-like carcinomaの1例. 第230回北陸外科学会, 1995, 2, 福井.
- 64) 吉野友康, 南村哲司, 吉田 徹, 日野浩司, 濱名俊泰, 黒木嘉人, 新井英樹, 坂本 隆, 山下芳朗, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 胃のcarcinoma with lymphoid stromaの1例. 第230回北陸外科学会, 1995, 2, 福井.
- 65) 小野 聡, 坂本 隆, 斎藤光和, 津澤豊一, 斎藤文良, 山下 巖, 清水哲朗, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 食道浸潤を伴った甲状腺癌の一切除例. 第232回北陸外科学会, 1995, 9, 金沢.
- 66) 森田誠市, 山下 巖, 魚谷英之, 山下芳朗, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 下血を契機に発見された終末回腸潰瘍の1例. 第232回北陸外科学会総会, 1995, 9, 金沢.
- 67) 沢田成朗, 魚谷英之, 岡本政広, 増山喜一, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 当科における大腸腫瘍表面ピットパターン of の検討. 第66回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1995, 11, 金沢.
- 68) 斎藤益子, 吉岡和子, 鶴重富子, 塚田トキエ: 助産技術の習得に関する調査-卒業時にどこまで期待するか-. 第36回日本母性衛生学会, 1995, 9, 京都.
- 69) 川西千恵美, 福田正治, 末広誠之, 小野武年: 情動・痛覚に対するSARTストレスの影響. 第72回日本生理学会, 1995, 3, 名古屋.
- 70) Fukuda M., Tamura R., Kawanishi C., Ono T.: Effects of tetanic electrical stimulation on rat hippocampal place neurons. 第4回国際脳研究機構世界大会, 1995, 7, 京都.
- 71) 川西千恵美, 宮林千鶴子, 船木智子: 手術患者の自己受容度と看護婦の判断による患者の受容度. 第21回日本看護研究学会, 1995, 7, 札幌.
- 72) 船木智子, 宮林千鶴子, 川西千恵美: 手術患者の満足度と自己受容度との関係. 第21回日本看護研究学会, 1995, 7, 札幌.
- 73) 川西千恵美, 高間静子: 看護婦の職務満足度と特性との関係その3 依存性・開き直り度・自己実現との関係. 第21回日本看護研究学会, 1995, 7, 札幌.
- 74) 谷優美子, 川西千恵美, 高間静子: 看護婦の職務満足度と特性との関係その1 自己受容との関係. 第21回日本看護研究学会, 1995, 7, 札幌.
- 75) 川西千恵美, 福田正治, 末広誠之, 田村了以, 小野武年: SARTストレス負荷による情動・行動の経時変化. 第48回日本自律神経学会, 1995, 11, 東京.
- 76) 川西千恵美, 高間静子: 看護婦の専門的自律度と個人特性との関係その1- 依存性・開き直り度・独立意識との関係-. 第15回日本看護科学学会, 1995, 12, 大宮.
- 77) 長谷川ともみ: Boston Beth Israel HospitalにおけるICN (Infection Control Nurse). 千葉看護学会第1回学術集会, 1995, 11, 千葉.
- 78) 湯川倫代, 黒川昌彦, 長谷川ともみ, 氷見由起夫, 難波恒雄, 穂積豊治, 松井祥子, 白木公康: 和漢生薬によるサイトメガロウイルス感染症に対する予防的治療効果. 第12回和漢医薬学会大会,

1995, 8, 東京.

◆ その他

- 1) 神郡 博：人間理解と心の看護を重視―「富山医科薬科大学看護学科」カリキュラムの特徴―. Quality Nursing 1(1): 50-55, 1995.
- 2) 澤田愛子：末期医療における精神的ケア. 富山ターミナルケア懇話会講演, 1995, 1, 富山.
- 3) 澤田愛子：臨死患者の苦悶―死の恐怖を越えるもの. 富山生と死を考える会定例会講演会, 1995, 3, 高岡.
- 4) 澤田愛子：臨死患者の苦悶. カトリック札幌北1条教会信友会講演会, 1995, 4, 札幌.
- 5) 澤田愛子：脳死と臓器移植に関して. 衆議院厚生委員会「臓器の移植に関する法律案」に関する名古屋公聴会, 意見陳述, 1995, 11, 名古屋.
- 6) カール・ベッカー, 澤田愛子：自分らしく死ぬ為に. 富山生と死を考える会講演会, 対談, 1995, 11, 富山.
- 7) 澤田愛子：尊厳死と安楽死―生命倫理の立場から. 富山ターミナルケア懇話会公開シンポジウム, 1995, 11, 富山.
- 8) 澤田愛子：臓器移植における倫理的問題. 第58回富山医科薬科大学社会医学セミナー, 講演, 1995, 12, 富山.
- 9) 田沢賢次：アップルペクチンによる大腸癌の抑制. 第15回和漢薬研究所特別セミナー, 1995, 3, 富山.
- 10) 田沢賢次：今, 大腸癌を考える. 第41回富山薬事研究会総会, 1995, 5, 富山.
- 11) 田沢賢次：消化器癌術後の肝転移再発防止に対するBRMの応用. 第1回富山バイオセラピー研究会, 1995, 7, 富山.
- 12) 田沢賢次：食生活と病気―癌は予防できるか―. 第13回オストメイトの集い, 1995, 7, 東京.
- 13) 田沢賢次：スポーツ医学の考え方. 文部省認定体育指導者講習会, 1995, 9, 高岡.
- 14) 田沢賢次：レクリエーションスポーツ活動中の事故に伴う法的問題. 文部省認定体育指導者講習会, 1995, 9, 高岡.
- 15) 田沢賢次：大上英夫, 大西康晴, 山本克弥, 勝山新弥, 山下巖, 岡本政広, 南村哲司, 増山喜一, 竹森 繁, 新井英樹, 藤巻雅夫：消化器癌術後の肝転移再発防止に対するBRMの応用―特に経口投与方法による肝転移制御は可能か―. 日本消化器癌発生研究会, 1995, 9, 大分.
- 16) 田沢賢次：大腸癌の発生と予防. 第12回青森県西津軽郡医師会生涯教育, 1995, 9, 鯉ヶ沢.
- 17) 田沢賢次：運動と健康. 文部省認定体育指導者講習会, 1995, 9, 高岡.
- 18) 田沢賢次：ストーマ周囲スキンケアの基本的考え方. 第1回長野県ストーマリハビリテーション研究会, 1995, 10, 松本.
- 19) 田沢賢次：創傷と看護―最近の動向からみて―. 金沢大学医学部保健学科看護セミナー. 1995, 10, 金沢.
- 20) 斉藤光和, 坂本 隆, 井原祐治, 野本一博, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 清水哲朗, 沢田石勝, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫：sm胃癌の臨床病理学的予後因子について. 第4回日本病態治療研究会, 1995, 4, 大阪.
- 21) 北野陽子, 菊川 香, 山瀬明美, 藤井里美, 安田智美, 堺美代子, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 田澤賢次, 西出 薫：皮膚生理機能からみた皮膚保護剤交換日目安の検討. 第11回北陸ストーマ研究会, 1995, 9, 富山.
- 22) 山本克弥, 岡本政広, 南村哲司, 増山喜一, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 田沢賢次, 藤巻雅夫：No270に跳躍転移を認めた早期直腸癌(sm)の1例. 第23回癌とリンパ節研究会, 1995, 9, 札幌.
- 23) 山本克弥, 大西康晴, 岡本政広, 増山喜一, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 田沢賢次, 藤巻雅夫：当科における大腸癌肝転移切除症例の検討. 第11回北陸大腸疾患研究会, 1995, 11, 富山.
- 24) 山下 巖, 坂本 隆, 清水哲朗, 野村直樹, 斎藤文良, 斎藤光和, 津沢豊一, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫：幽門側胃切除術後の逆流性食道炎症例の検討. 第8回胃術後障害研究会, 1995, 10, 東京.
- 25) 野村直樹, 坂本 隆, 斎藤文良, 斎藤智裕, 津沢豊一, 山下 巖, 清水哲朗, 斎藤光和, 山下芳朗, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫：腹膜播種性転移陽性胃癌症例に対する化学療法 of 検討. 第20回制癌問題研究会, 1995, 10, 富山.
- 26) 斉藤智裕, 坂本 隆, 斎藤光和, 横山義信, 柚木 透, 野本一博, 井原祐治, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 清水哲朗, 沢田石勝, 唐木芳昭, 田澤賢次, 藤巻雅夫：ヒト食道癌培養細胞における $\Delta 12$ -prostaglandin J2とhyperthermiaの併用効果の検討. 第49回食道疾患研究会, 1995, 6, 大津.
- 27) 坂東 正, 霜田光義, 長田拓哉, 山岸文範, 白崎 功, 田澤賢次, 藤巻雅夫：門脈血行動態, 特に排出路からみた治療法の選択. 第5回北陸食

- 道・胃静脈瘤硬化療法研究会, 1995, 9, 金沢.
- 28) 坂東 正, 霜田光義, 長田拓哉, 山岸文範, 白崎 功, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 肝切除後肝不全症例の検討とその対策. 第11回富山肝臓セミナー, 1995, 10, 富山.
- 29) 南村哲司, 横山義信, 山崎一磨, 大上英夫, 岡本政広, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 直腸癌における側方郭清症例の検討. 第42回大腸癌研究会, 1995, 1, 東京.
- 30) 井原祐治, 坂本 隆, 濱名俊泰, 野村直樹, 東山考一, 黒木嘉人, 斎藤光和, 清水哲朗, 沢田石勝, 山下 巖, 斉藤文良, 唐木芳昭, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 当科におけるsm胃癌症例の検討. 第65回胃癌研究会, 1995, 6, 東京.
- 31) 津澤豊一, 清水哲朗, 坂本 隆, 斎藤文良, 野村直樹, 山下 巖, 島多勝夫, 斎藤光和, 唐木芳昭, 田澤賢次, 藤巻雅夫: QOLからみた胃癌肝転移症例の検討. 第6回北陸臨床癌化学療法研究会, 1995, 7, 金沢.
- 32) 大上英夫, 田澤賢次, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 山下芳朗, 唐木芳昭, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Azoxymethane誘発ラット大腸腫瘍に対するアップルペクチンの効果(第3報): 胆汁酸代謝からみた考察. 第7回日本消化器癌発生研究会, 1995, 9, 大分.
- 33) 岡本政広, 増山喜一, 横山義信, 南村哲司, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 当科における遺伝性非ポリポーシス大腸癌症例の検討. 第43回大腸癌研究会, 1995, 7, 浜松.
- 34) 塚田邦夫, 中田千代子, 十松智代, 松井美津枝, 平本久恵, 谷口由紀子, 桂木 吏, 横田 力, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 空腸ストーマ周囲皮膚壊死症例のケア. 第11回北陸ストーマ研究会, 1995, 9, 富山.
- 35) 日野浩司, 増山喜一, 横山義信, 斎藤智裕, 岡本政広, 坂本 隆, 田澤賢次, 藤巻雅夫: 癌に対するCircadian Chemotherapyの試み. 第2回北陸DDS研究会, 1995, 7, 金沢.
- 36) 大西康晴, 大上英夫, 田澤賢次, 横山義信, 南村哲司, 山本克弥, 勝山新弥, 竹森 繁, 新井英樹, 坂本 隆, 山下芳朗, 藤巻雅夫: ラット肝転移モデルに対するアップルペクチン(水溶性食物繊維)の抑制効果ープロスタグランジンE2との関連ー. 第4回がん転移研究会総会, 1995, 4, 東京.
- 37) 大西康晴, 田澤賢次, 斎藤智裕, 増子 洋, 竹森 繁, 新井英樹, 佐伯俊雄, 藤巻雅夫: クローン病の痔瘻のインド医学的治療. 第2回富山県IBD研究会, 1995, 7, 富山.